



鈴木 喜一 議員

問

県の11月補正予算において町への
事業効果は

答

本町に関係する事業はない



老朽化が進む孫目堰

質問 県の補正予算の公共事業費は、農業基盤整備関連が主に三十六億円投入とある。

故障している水路取水施設の改修のほか農林道に充てるとあるが、町において具体的な箇所はあるのか。また、今後どのような要望をしていくのか。

答弁 (町長)

今回の補正予算関係で具体的な箇所は無い。今後は緊急性のある用水路や頭首工などの水利施設の改修を要望し

ているところであり、採択を受けるべく手続きを進めている。

質問 米価の下落等、今後益々厳しい農業情勢になっており、農家の負担の少ない事業を要望して欲しい。

答弁 (商工農林課長)

すでに農業施設用の用水路、堰等の事業について要望は上げているが、なかなか事業費がついてこない現状である。できるだけ有利な補助事業に該当させたいと考えている。

問 ふくしま駅伝の強化策は

答 選手の今後の成長を期待しながら育成強化を支援していく

質問 十一月二十一日に行なわれた市町村対抗駅伝競走において、棚倉町代表も素晴らしい走りを見せていただき、選手の皆さんに感謝を申し上げます。

しかし、結果的に五十二チーム中、四十八位であり、町に元氣と勇気を与えていただくためにも今後人材の発掘・育成の対策が必要ではないか。

答弁 (教育長)

結果として総合四十八位となったが、選手の力は着実に伸びている状況にある。

選手の育成については、スポーツ少年団主催の棚倉町十萬石駅伝大会の実施や、小学生を含むマラソン愛好者への指導も行なっている。今後の成長を期待しながら選手の育成強化を支援していく。



ふくしま駅伝 棚倉町選手団

質問 町の部では二十九チーム中、二十八位で、郡内四町村において是最下位になり、今後のためにも何とか力を入れていく必要があると思うが、予算的にはどれくらいなのか。

答弁 (生涯学習課長)

平成二十二年度のふくしま駅伝についての予算は百二十万円。

質問 競技結果において、良い成績を残した中学生、高校生もいるが、社会人選手の参加も必要ではないか。

答弁 (教育長)

社会人参加の選手については、大変期待をして毎年募集しているが、なかなか出場していただけないのが現状である。



宮川 政夫 議員

問

地域の実情に合った教職員人事を

答

県全体での調整があるので困難

- 質問** 核家族化や少子化の影響から、家庭や地域の教育力の低下がみられる。また、道徳観、倫理観の欠如が要因と思われる問題も多くなっている。
- (1) 徳育教育の現状と、さらに推進するための教科に組入れることは考えられないか。
- (2) その地域に生活拠点を持つ教員を確保できないか。
- (3) 学校内でのトラブル解決のため、相談窓口の設置が必要ではないか。
- 答弁** (教育長)
- (1) 外部人材を活用しながら年間三十五時間の道徳教科を実施している。
- (2) 県全体で調整があることから地域の実情に合った人事は困難。
- (3) 校長会、校内生徒指導委員会などで、トラブル解決にあたって

問 野球場建設を振興計画に上げるべき

答 体育館の補修を優先、建設計画はない

質問 各種スポーツ競技の技術力向上や健康増進のためスポーツ振興を図らなければならぬが、競技人口の減少や、支援組織の人員確保に苦慮している。

- (1) 町体育協会を中心とした組織の強化策は。
- (2) 運動施設の利用規則を緩和し利用促進を図るべき。
- (3) 野球場建設を振興計画に上げて必要性を再確認すべき。

答弁 (教育長)

- (1) 会員数の減少や活動の低迷を危惧している。体育協会等と協議しスポーツ振興に努める。
- (2) 社会体育施設の管理運営は条例、規則等で行っているが、簡易な事項は規定の中で検討できる。
- (3) 総合体育館の耐震診断・改修を優先するので、現在建設は考えていない。



野球場建設は関係者の悲願

問 森林保全における木質バイオマス燃料利用の可能性を質す

答 森林環境税での補助対象事業拡大を要望する

質問 枯渇する化石燃料への対応と、地球温暖化防止のCO₂削減策として、木質燃料の活用が期待されている。

当地域の豊富な森林資源を生かした地域循環型社会の構築と林業の活性化を推進すべき。

答弁 (町長)

「木質バイオマス燃料」は再生可能エネルギーであることから、供給施設と利用施設の整備と、コスト面での改善が図られることで林業の活性化にもつながる。しかし、現在の森林整備の補助制度では限界がある。

【その他の質問】

問 クラウドコンピューティング導入の可能性を問う

答 国や県の動向を見据えて導入の是非を研究・検討する



注目される木質バイオマス燃料

森林環境税を財源とする補助対象事業の拡大や、対象地区拡大を要望し、循環型社会の実現に向けて取り組む。



近藤 悦男 議員

問

公共施設への太陽光発電パネル設置について問う

答

設置場所も含めて調査研究する

質問 公共施設に太陽光発電パネル設置について、町の取組みは現在どのレベルにあり、どのように把握されているのか。具体的に役場庁舎などに太陽光発電パネルを設置し、多くの町民に環境意識の動機付けを行なうてはどうか。

答弁（町長）

今年度から住宅用太陽光発電システムの設置補助を開始し、太陽光発電の普及促進と新エネルギーに対する町民意識の高揚に努めている。役場庁舎に設置する



太陽光発電パネルが設置されている保健福祉センター

場合は、建築基準に基づく建物の構造設計も必要となり、今後は設置場所も含めて調査研究していく。

質問 学校に太陽光発電パネルを設置して楽しみながら節電や環境教育を行ってはどうか。

答弁（教育総務課長）

調査設計ができる段階で検討はしてみたい。照明器具や空調設備関係を新たに設置する場合には、省エネタイプのものを設置する。

問 危機管理体制はどうなっているのか

答 全職員がマニュアルによる防災活動を実施する

質問 災害時における初動体制と組織訓練、職員の現場対応能力と所要の移動時間は把握されているのか。

答弁（町長）

組織訓練は、毎年開催される県南地方総合防災訓練や、福島県水防訓練に消防団とともに参加し、非常時に備えている。

また、災害時には、職員の三分の二以上が緊急体制をとることとしている。各担当課が災害対策本部設置後、マニュアルによる防災活動を実施することとしている。

また、道路パトロールを実施しており、危険箇所等の把握に努めている。通学路周辺については、長期休業前などに各学校において教員やPTAで調査している。

問 町内の5S活動美観について問う

答 各地域の環境保全を推進している



防災訓練

問 町内の5S活動美観について問う

答 各地域の環境保全を推進している

質問 整理、整頓、清掃、清潔、しつけの5S活動を町民にも推進してはどうか。町の美化運動につながると思うが、どのように考えているのか。

答弁（住民課長）

5S事業は、当然ながらそれぞれの家庭、地域で取組んでいただいている。さらにどのような広報、周知をすれば効果的であるかも含めて研究していきたい。



鈴木 政夫 議員

問

食と環境と雇用を壊すTPP参加に反対を

答

参加には慎重な対応が必要

質問 菅総理は、先般のAPEC首脳会議でTPP（環太平洋パートナーシップ）参加に向けた意見を強く表明した。TPPは各国の実情を

考慮せず、関税撤廃の例外措置を認めない完全な貿易自由化を目指した構想である。これが実行されれば、国内農林水産業は壊滅的打撃を受けることになり、食料自給率は四十%から十四%に低下すると農水省が試算している。

答弁（町長） 農業等の再生とTPPをどう両立させるのか、今後検討されると思うが、私としては慎重な対応が必要であると思っている。

問 山岡小の優れた教育はどこから生まれたのか

答 複式三学級のユニット方式で全国平均を上回る成果を上げている

質問 山岡小学校が時事通信社の教育奨励賞において、優良賞を受賞した。受賞の理由は、指導方法の工夫で小規模校の弱点を克服したことが評価されたところ。

複式学級の小規模校でありながら、全国学力検査で全国平均を上回る成果をあげている。

このような優れた実績を上げることができ、方法を具体的に示していただきたい。

答弁（教育長） 山岡小学校は全校で複式三学級体制の中で、一つの学習分野を二学年同時に指導するユニット方式を生かした複式授業である。

基礎学力をつけさせるため、「ぐんぐんタイム」という学習時間を導入し、授業開始前の二十五分間に漢字、計算、音読の三学習を毎日継続して行なうこと

問 景気対策の即効薬としての住宅リフォーム制度の実現を

答 県内・近隣町村の実施状況等の情報収集を行ない研究したい

質問 不況が長引く中、緊急な経済対策が求められているが、今、注目を集めているのが住宅リフォーム助成制度である。

町民が住宅リフォームを行なう時、町内の業者を利用した場合、町が一定の助成をする制度である。二十万円以上で十万円、十万円以上で十%

の助成をすることができた。

などあるが、町も実施すべきと思うが。

答弁（町長） 町単独の助成制度は、厳しい財政状況にあるが、県内及び近隣町村の実施状況の情報収集を行ないながら、研究して行きたいと考えている。

問 町営住宅の管理は改善されたのか、また、空き住宅の修理はどこまで進んでいるのか

答 空き住宅九戸のうち九月補正で四戸の修繕が完了し、雨樋等の修繕は十二月補正で対応する



山岡小学校



佐川 裕一 議員

問

複合施設建設案を問う

答

平成25年度の完成を考えている

質問

- (1) 具体的にはどの辺にどの程度の施設を考えているのか。
 (2) 着工、完成時期は。総事業費見込みは。

答弁(町長)

- (1) 磐城棚倉駅周辺の土地を考えている。敷地面積については、約二千三百㎡、図書館及び集会施設のほか、歴史資料展示室を備えた社会教育複合施設を考えている。施設の面積や配置など、具体的な内容については、今後、町民の方々の意見を伺いながら整備をする考えである。
- (2) 町振興計画実施計画に基づき、平成二十三年度に用地取得、平成二十四年度に実施設計を行い、平成二十五年度に施設建設を着工し、平成二十五年度内の完成を考えている。概算費用だが、総額約五億五千万円程度を見込んでいる。

質問 住民を含めた準備委員会の設置は考えているか。

複合施設建設案が浮上した磐城棚倉駅前周辺



答弁(町長)

複合施設の建設検討委員会、そういったものを設けて、関係者に委員になってもらい、細部を詰めていきたい。

問

環境省推奨のESCO(エネルギー)事業を問う

答

今後調査研究をしていく

質問

省エネ、初期負担軽減、経費節減につながるエスコ方式導入を考えるとどうか。
 また、導入に向け課題はあるのか。

答弁(町長)

本事業は、経済産業省資源エネルギー庁が省エネルギー政策として、平成十六年度に自治体におけるESCO事業普及に関するガイドラインを策定し、推進を図っている。三重県庁や三鷹市役所など全国的にも多くの自治体で取り組まれており、今後、調査研究をしてまいりたい。

次に、導入に向けて

の課題は、ESCO事業は、従来の公共工事とは異なり、建設工事とサービス提供が一体となったものである。

このため、事業規模にもよると思われるが、提案内容もESCO事業者により千差万別に

なることから、募集要項では詳細にわたるきめ細かな要項とするところが望まれる。

いずれにしても、現在注目を集めている事業であるので、施設の改築に当たっては検討していきたいと考えている。



エスコ方式による導入も考えられるLED防犯灯



藤田 智之 議員

問

城跡公園の将来の整備計画は

答

計画前の調査だけでも多額の費用が予想される



棚倉町中央公民館

質問 城の復元など、城跡公園の将来の整備計画はあるか。

棚倉城と亀ヶ城の名称を整理してはどうか。茶室の有効利用の取り組みと管理運営の方法は。

答弁 (町長)

城跡での施設整備や開発には文化財保護法が適用され発掘などの事前調査や県の許可が必要である。本丸跡の調査は行いたいが多額の費用が予想され、さらに現在復元に必要な資料が無いため、

現時点では考えていない。名称は史跡としては棚倉城、公園としては亀ヶ城公園として町民に浸透していると考えている。

答弁 (教育長)

茶室の管理運営については利用予測が把握できないため当面教育委員会で行う。

答弁 (生涯学習課長)

春祭り時にオープンイベントを考えている。また、休憩棟での芸術、文化的な展示なども考えていきたい。

問 町の施設を利用し易くするための取り組みは

答 幅広く多くの町民に利用されており十分である

質問 町施設の利用促進について十分に広報されているか。総合的な利用案内等はあるか。

利用料の減免規定はどの様になっているか。近隣市町村との間で「公共施設の相互利用」の協定はあるか。

答弁 (教育長)

公民館や図書館、文化センターや体育館などでは事業の開催や無料開放などにも取り組んでおり、年間を通じて多く

の町民に十分に利用されていると考えている。

また、広報たなぐらを通じて各種行事の情報提供にも努めている。減免規定は施設ごとに条例や規則で定めている。近隣市町村との相互利用の協定はない。

答弁 (企画情報課長)

現在、転入者向けの利用案内はあるが、町民向けについても今後検討したい。



移築復元工事中の茶室

問 校庭の芝生化の推進は

答 現在のところ取り組み考えはない

質問 町として校庭の芝生化に取り組む考えはあるか。

県補助事業の状況は。計画した場合、予想される課題はどの様なものがあるか。

答弁 (教育長)

現在のところ校庭の芝生化に取り組む考えはない。

県の事業採択の要件には地域住民による維持管理組織が必要とされ、補助対象費用は芝

生の苗や肥料、管理機械等であり工事費は含まれない。

芝生化した場合、校庭として常に適正に管理できるか等が課題として考えられる。



大相 守 議員

問

「ほたる」の町づくりについて問う

答

「蛍の光」を歌うなどで町おこしをしていきたい



亀ヶ城公園お堀のボランティア清掃作業

質問

(1) 国学者稲垣千穎ちかえの研究はどこまで進んでいるのか。

(2) 顕彰事業の計画は。棚倉城跡のお堀に蛍を飛ばしては。

(3) ほたるの町づくりや「蛍の光」で町おこしをしては。

答弁(教育長)

(1) 中西光雄氏には、何度か本町を訪れていただき、情報交換等

を行っている。十一月の歴史講演会では、講演をいただいた。今後も、中西氏らと連携した調査を進める。

(2) 歴史講演会のほか、小学三、四年生の社会科副読本、私たちの町棚倉に「蛍の光」の歌詞や棚倉町生まれであることを掲載し、顕彰していく。

(3) 生活廃水が入り、良質な水が年間を通じて安定して得られる

水環境が整っていない。また、鯉が蛍のえさとなるカワニナを食べてしまうなど、蛍の生育環境が整っていない。

(4) 各小、中学校の卒業式で唱歌、蛍の光を歌うことを検討している。

問 学校給食を無償化にしては

答 今のところ考えていない

質問 子育て支援について問う。

(1) 幼稚園、小・中学校の学校給食を無償にしては。

(2) 給食費で、一食当たりの個人負担額と、町の負担額は。

(3) 無償化が出来ない場合、個人負担額の軽減について検討できないか。

(4) 今後実施を予定する子育て支援事業は何か。

答弁(町長)

(1) 無償にすることは考えていない。

(2) 幼稚園が二百三十五円、小学校が二百六十円、中学校が三百円。町の負担額は六千七百万円。

(3) 軽減する考えは無い。ファミリーサポートセンター開設に向けた計画を進めている。

(4) また、新たに近津児童クラブを開設する予定。

質問 学校給食の滞納者の人数と金額は。

また、どのような状況で払えないのか。

答弁(教育総務課長)

滞納者は二十五人で、六十二万一千円。経済的な理由もあるが、親としての規範意識が無い人が増えている。



おいしい給食を作ります

(11) 平成22年12月たなぐら議会日より